

庚申山磐座

～川合の地、美しい山の頂、至上の地に鎮まる磐座～

目次

1. おすすめポイント
2. 説明
3. 現地写真
4. 「鳥の目」で
5. アクセス

資料番号

K21

初版：2025.12.4



1. おすすめポイント

★人々がこの地にかける「これでもか！」という程の篤い信仰心を感じます。神石に刻まれた摩崖仏は必見！

★最高の展望場所でもあります。吉備中山、造山古墳、鬼ノ城・・・吉備の歴史を一眺してください

2. 説明

右下枠内 参考文献1「八木敏乗, 岡山の祭祀遺跡 (岡山文庫 145) . 日本文教出版, 1990, p 56」より引用させて頂きます。



2-1

現地の説明版

以下、管理人から・・・

麓は八木氏指摘のように正に「川合」の地、山容は美しく、その頂にこのような岩群があればここが特別な場所とされたことに納得です。ひときわ存在感のある岩には塔が載せられていたり、摩崖仏が彫られたりしています。人々の篤い信仰が見て取れます。

庚申山
岩屋奥の登龍山から発し、鬼の城、西阿曽を経て、南流する血吸川と東流する砂川が合流（一八〇号線付近）して、更に下つて、本流足守川に合流するあたりの、右岸に迫つて聳える丘、庚申山（七七・五メートル）があり、この山頂を二分して行政上では岡山市と総社市に区分所管されている。

総社市赤浜

この丘の頂に巨岩が群がり、ここが古来より聖なる神の座（磐座）とされる。

この神座、古くは式内社穴門山神社（川上郡川上町高山市）の元宮といわれ、又、名方浜ノ宮、あるいは赤浜ノ宮の奥宮とも比定される。庚申山の麓下、足守川の左岸下には、現在、堤防に接して、名方浜ノ宮の小祠（祭神、神武天皇）が在り、この最寄りの集落、長田は、名方ノ浜の転化でもあろうか。

3. 現地写真

2020.2.8

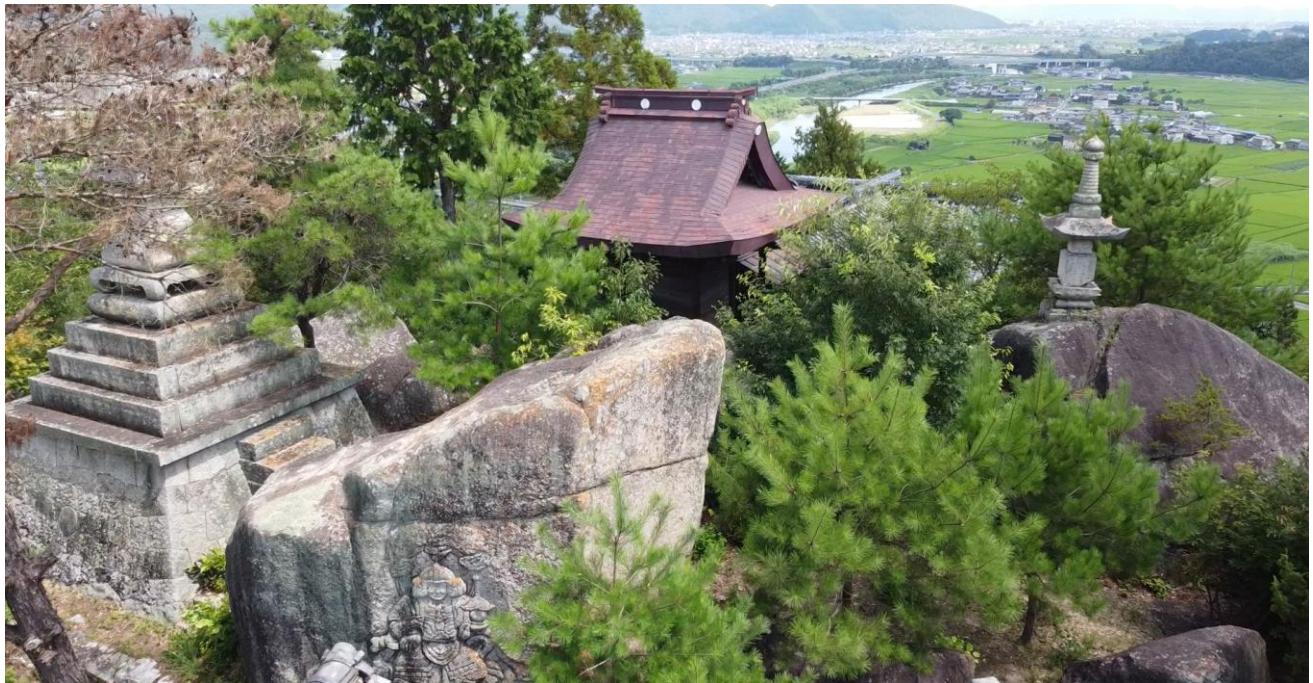


3-1



塔が載せられた巨石

2020.8.13



3-2



摩崖仏が彫られた巨石



塔が載せられた巨石

2020.2.8



3-4

3-3 塔が載せられた巨石 岩に向けて石の階段が設けられています（写真では岩陰）



2020.8.13



3-5

3-6

摩崖仏（毘沙門天）
が彫られた巨石



3-7

2020.2.8



3-8



3-9



3-10

2020.8.13



3-11



不思議な存在感を放つ卵型の石

4. 「鳥の目」で

2020.8.13



4-1

南東を望む

庚申山の美しい山容

手前は足守川



4-2

北東から 岩群全体を見る

5. アクセス

Google Mapに赤や黄で追記



5-1

N
4
+



5-2

地理院地図に赤で追記

「川合」の地であることがお解り頂けると思います。

駐車スペースがあります



5-3

参考文献

- 1) 八木敏乗, 岡山の祭祀遺跡 (岡山文庫 145) .
日本文教出版, 1990, p 173